

[創造] [充実] [発展] 高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成
～ 笑顔と感動のあふれる大渦中 ～



サルビア

大渦中学校
学校だより
NO. 9 R5.3.29
文責 小野貴幸

大中としての誇りを胸に！更なる飛躍を！

～ 1年間のご支援、ご協力ありがとうございました～

暖かな日差しを浴びて草木が芽を出し、日ごとに春の息吹が感じられる今日この頃、令和4年度も終わりを迎えようとしています。保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応を継続しながら、本校の教育活動にご理解、ご協力をくださり、心より感謝申し上げます。おかげさまで、生徒たちは日々、学習や体育的活動、文化的活動に対してひたむきに取り組み、健やかに、そしてたくましく成長することができました。

3月9日に令和4年度大渦中学校卒業証書授与式が行われ、3年生33名が大渦中学校の学び舎を巣立っていきました。村の関係者の皆様と3年生の保護者の皆様、在校生が見守る中、整然とした立派な姿で卒業生一人一人は校長先生から卒業証書を受け取りました。どの生徒の表情からもこれまで大中学生として頑張ってきた自信とこれから踏み入れる新しい世界への期待が感じられ、頼もしく思えました。そして、3月20日には1、2年生が成長した凛々しい姿で修了式を行いました。

令和5年度も大中学生一人一人、それぞれ新しいステージで自分のよさを十分に発揮し、大きく飛躍することを期待しています。

寒さの続く冬もようやく過ぎ去り、暖かい春の日差しが感じられる今日、私たちは旅立ちのときを迎えました。中学校生活はあっという間の三年間で、とても充実していました。三年前の春、真新しい制服に身を包み、大渦中学校の一年生になりました。中学校では教科ごとに先生が違ったり、定期テスト・体育祭・大中祭などがあつたりと、全てが初めてだったので、なかなか環境に慣れず、不安で一杯でした。そんなとき、いつも優しく接してくださったのが、先生方や先輩たちでした。一年生の私にはとても心強い存在だったことを今でも鮮明に覚えています。

二年生になり、新一年生が入学してきて先輩と呼ばれる立場になりました。最初はどうか戸惑いましたが、少しずつ後輩の面倒をみるようになっていきました。後期になると、委員会や部活動などで責任のある立場となり、大中学生としての自覚をしっかりとって行動することが求められるようになりました。

そして迎えた三年生。今まで頼りにしていた先輩たちは卒業し、最高学年として、学校を引っ張っていくことになりました。すべての行事が中学校最後になるので、一つ一つの行事を成功させるために、みんなで頑張りました。

五月に行われた体育祭では、応援歌を作ったり後輩に「よっちょれ」を教えたり、慌ただしい毎日でしたが、時間を有効に使って活動することができました。体育祭当日は猛暑日でしたが、暑さを吹き飛ばす盛り上がりを見せました。九月に行われた大中祭では、学年に関わらず全校で協力して成功に向けて準備をしました。当日は、大中学生の個性あふれる出し物と一体感のある合唱を披露しました。十月の修学旅行では、みんなでルールを守り、楽しく三日間を過ごすことができました。友だちの意外な一面も知ることができ、思い出に残る旅行になりました。

行事以外では、毎日努力してきた部活動を忘れることができません。練習が厳しかったり、試合で失敗したりしたときなどは、仲間が支え、助けてくれました。どの部も目標に向かって努力し、それをみんなで認め合っていました。全校の激励会やクラスでの応援はとても一体感があり、「もう一丁」の声が何度も続きました。そして、迎えた夏季総体。どの部も三年間の練習の成果をすべて出し切りました。部活動を通して私たちは多くのことを学びました。目標に向かって努力すること、仲間との協力、支えてくれる人への感謝の気持ち。これらは勝敗以上に大切なものであり、大人になってもずっと私たちの心に残り続けるでしょう。一、二年生のみなさん、委員会活動や学校行事、部活動で、私たち三年生を支えてくれてありがとうございました。私たちが卒業した後は、みなさんが大渦中学校を今まで以上に発展させてくれると信じています。

今まで私たちに多くのことを教え、指導して下さった先生方、ありがとうございました。常に私たちのことを考え、優しく話を聞いたり励ましたり、時には厳しく叱って下さったことを感謝しています。先生方から学んだことをこれからの人生に生かしていきます。

そして、どんなときも私たちを温かく見守り、応援してくれた保護者の皆様、ありがとうございました。いつもわがままばかり言っていた私たちですが、お父さん、お母さんが私たちのことを心配している気持ちは十分分かっていました。これからは周りの人へ感謝の気持ちを素直に出せるように成長していきます。もう少しお世話になりますが、よろしくお願いします。

最後に、三年生のみんな。みんなとは幼いときから一緒にいて、数え切れないほどの思い出があります。楽しかったこと、悲しかったこと、喧嘩したことなど、いろいろなお話がありました。皆で支え合って今があります。これからはみんなそれぞれの道を進むこととなりますが、私たち三十三名はこれからも大切な仲間です。変わらぬ友情をもち続けていきたいと思えます。

最後となりますが、私たちは地域の方たちを初め、たくさんの人たちに支えられ、応援されてきました。その人たちとの出会いが私たちをここまで育ててきました。これまでお世話になった全ての方たちに、心から感謝し、旅立ちのことばといたします。

令和五年三月九日

卒業生代表 川〇〇真

感動の卒業式を終えて



卒業式後の記念写真撮影



卒業証書授与 堂々とした立派な態度でした

感動的な〇真さんの答辞



最後の最後まで明るく力一杯盛り上がった3年生でした。



